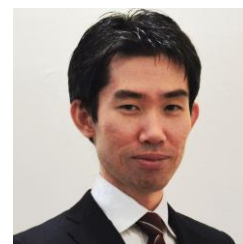


<機能病態学教室 セミナー>

八工が教えてくれる抗がん剤のつくり方
-FLY me to amazing drugs!-



Masahiro Sonoshita, Ph.D.

Postdoctoral Fellow,

Departments of Cell, Developmental and Regenerative Biology,
Icahn School of Medicine at Mount Sinai (New York, USA)

日時：2017年10月2日（月）午後2時-3時

場所：東京大学薬学部 南館4階 大学院講義室

効果が大きく副作用の少ない抗がん薬を創りたい、使いたい———多くの人の昔からの願いです。しかし、実際の創薬には大きな困難が伴います。多大な労力や時間、資金が必要となるなど多くの課題が存在し、そもそも、「このようにすればいい抗がん剤を作ることができる」という明確な方法論が確立されていないのです。園下博士はこの問題を解決すべく、高効率で迅速な新規創薬基盤の開発に取り組んでいます。本セミナーでは、ショウジョウバエ遺伝学と創薬化学、計算機科学を融合したこの手法について何う機会を設けました。既存薬よりも著しく高い抗がん効果を発揮するキナーゼ阻害薬の創出に成功した例を紹介いただき、創薬分野におけるこの手法の意義や応用の可能性なども議論できればと考えています。大学院生だけでなく、PI・若手研究者の方々の多数のご参集をお待ちしております。

Contacts

東京大学大学院薬学系研究科機能病態学教室 富田泰輔

tel: 03-5841-4868 e-mail: taisuke@mol.f.u-tokyo.ac.jp